

もくじ

えび人 vol.23	02	情報	10
今号の表紙	03	市民の広場	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
市政発展の功労者を表彰	06	相談	13
海老名文化スポーツ賞	08	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など
 えびな健康マイレージ
 2019対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です

市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください

市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



文字が全体的につながるように書きました。
杉本小学校 保田 奏さん(11歳)

写真

タイトル：水面の紅葉
 撮影場所：北部公園
 撮影者：上今泉在住
 今村英彦さん



編集雑記

寒い日が続く、つい地面ばかり見てしまいがちですが景色はしっかりと晩秋の色に。市役所西側催事広場の木々も色づいています。すでに落ち葉も増えてきて、冬の支度が始まっています。時には顔を上げて海老名の自然を楽しみたいと思いました。(た)



現場で生きるチーム作り 一つ一つ確実に

昔から田んぼが広がる「下今泉」と、高層マンションが建つ新しいまち「泉」を守る消防団第6分団。塩脇さんは4世代にわたって下今泉で消防団員を務めています。「団員は20代と40代。年齢層が偏っているわりには仲が良い兄弟のようで、うちの団の特徴かも」。分団長として目指した行動の効率化やチーム作りは、ことしの消防操法大会で優秀賞という成果を生み出しました。大会に向けた練習はいざという時に生かされると言います。「一つ一つ確実にやって前に進めれば、成るものは成る」と穏やかに強く語る姿から、堅実な人柄がうかがえます。

塩脇さんは「まずは再来年の消防操法大会を見にきてほしい」と話します。防災知識が増え、家族を守る術も身につく、地域の安全を守る消防団。「経験する人が増えてくれたら」という思いは強く、地域のイベントでチラシを配布するなど啓発も一歩一歩ですが、今日も前へ確実に進みます。



6年振りの優秀賞を手にした消防操法大会出場メンバー

津久井在来大豆の栽培は「過酷だけの面白さ」

今月のえび人

消防団第6分団分団長
塩脇和弘さん
(下今泉在住・45歳)

昨年、分団長に2度目の就任。用水路の維持管理を行う県相模川左岸土地改良区に勤務。趣味で、「幻の大豆」と呼ばれる津久井在来大豆を育て、出荷している。